

< 中学校授業計画事例 >

1 単元名 江戸幕府の成立と鎖国（さまざまな身分と暮らし）

2 単元の目標

- 江戸幕府の巧妙な支配のしくみに触れ，徳川将軍の政治手法について関心を高めようとする。 （関心・意欲・態度）
- 貿易の振興から政策を転換し，鎖国へと踏み切った幕府の意図について考えることができる。 （思考・判断）
- 鎖国下の対外政策について写真資料やグラフから読みとることができる。 （技能・表現）
- 江戸時代のさまざまな身分と暮らしについて理解する。 （知識・理解）

3 単元計画（5時間）

主 な 学 習 活 動	配時
1 江戸幕府の成立と支配のしくみ ○ 江戸幕府の巧妙な支配のしくみに触れ，徳川将軍の政治手法について関心を高める。	1
2 さまざまな身分と暮らし ○ 江戸幕府の身分制度について理解する。 ○ 身分によるきびしい差別について考える。 （本時）	2
3 貿易の振興から鎖国へ ○ 貿易の振興から鎖国へと踏み切った幕府の意図を考える。	1
4 鎖国下の対外関係 ○ 鎖国下の対外政策について資料から読みとり，考える。	1

4 本時の主眼

- 江戸時代の社会のしくみの中で，差別された身分がつくられたことを理解する。
- その外の身分として差別を受けた人々が創造した文化やたくましく生きた姿を知るとともに，差別を許さない態度を身につける。

5 本時の展開

配時	学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
1	1 前時学習の復習を行う。	
7	2 江戸時代の身分について，いくつかの質問にクイズ形式で答える。	○ 刀を持っていても武士身分ではない，商売をしていても町人身分ではないことに気づかせる。
2	3 本時のめあてを確認する。	
江戸時代の社会のしくみを理解し，この時代の社会が生み出したものは何かを考えよう。		

3	4 江戸時代の身分制度によって、差別を受けていた人たちがいることを知る。	○ 身分制度があり、差別される身分があったことを知らせる。
27	<p>5 差別が生まれた理由を考える。</p> <p>(1) 中世と近世の社会を比較し、江戸時代の社会のしくみを理解する。</p> <p><中世></p> <ul style="list-style-type: none"> ・延喜式，ケガレ意識の観念 ・移住生活をしてきた ・諸国を自由に往来する人々 <p><近世></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身分と仕事，居住地が固定される ・自由な移動が認められない ・民衆の意識の変容（畏怖畏敬の念→排除） <p>(2) 中世と近世社会の共通点と相違点を考え、発表する。</p> <p>①社会のしくみについて</p> <p>(共)・身分はある</p> <p>(相)・住居，仕事，身分の全てが固定された</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身分によって，きまりがつくられた <p>②人々の生活について</p> <p>(共)・民衆の団結力</p> <p>(相)・民衆の意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畏怖畏敬の念が自分たちとは違った人たちという意識 ・自分たちの村以外の人に対しての排除の意識 <p>(3) 誰が差別を生み出したのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民衆（町人や百姓）…中世からのケガレ意識が排除の念となり，差別を生んだ ・支配者（幕府）…身分制度をつくったから ・百姓…自分たちの生活が苦しかったから <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>民衆の意識（排除の意識）と幕府がつくった制度が重なり，差別が生まれた。</p> </div>	<p>○ 学習プリントを使って，比較し，振り返らせる。</p> <p>○ 古来神に近い者，特殊な技能を持つ者に対する畏怖畏敬の念が，南北朝の動乱期以降の天皇の権威の失墜により蔑視へと変容していったことを確認させる。</p> <p>○ 竜安寺等の写真を提示する。</p> <p>○ ケガレ意識やきよめ等，科学的な根拠のない考え方が社会の中にあつたことを想起させる。</p> <p>○ 中世には流動的であつた仕事や居住地などを江戸時代には，身分によって分離固定したことを知らせる。</p> <p>○ 生徒一人ひとりがじっくり考えられるように，机間巡視を行い，考え方のアドバイスをする。</p> <p>○ この時代の身分制度は，民衆の意識が差別を具現化していったことに気づかせる。</p> <p>○ 住居，仕事，身分の固定や分離人々の意識などの相違点が集団外への排除の意識に変化していることをおさえる。</p> <p>○ その外の身分の人々を排除するという見方や考え方を幕府が支配体制の維持に利用したことをおさえる。</p> <p>○ 元禄期以降，秩序の維持のために幕府が身分制度の引き締めを利用したことも知らせる。</p> <p>○ えた身分，ひにん身分がおかれ差別を受けたことを確認させる。</p>

5	<p>6 差別を受けていた人々はどんな暮らしをしていたのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントの資料を通して、専門的知識と技術を生かして活発に経済活動を行っていたこと ・皮革業，雪駄づくり，新田開発，医術 ・人口の増加の資料などから，多様な仕事や役を負擔し，互いに支え合って厳しい状況の中でも力強く生き抜いたこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 賤称語については，説明をし，その使い方によっては人を傷つけてしまうことをおさえる。 ○ 甲冑や能，庭園などの高度な技術や芸能，文化などを創造し，育んできた人々であることを再度理解させる。 ○ 新田開発や荒れた土地を良田に変える等の専門技術を必要とする仕事に誇りを持ち，技術を磨いていたことを確認させる。 ○ 市兵衛らや太鼓屋又兵衛等の例を出し，仕事を追求する中で大きな財産を築いていった人々のことも知らせる。
5	<p>7 本時の学習のまとめを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>江戸時代の社会の中で，百姓や町人が持っていた意識（畏怖・畏敬の念が変容した意識）が利用され，差別が生まれた。その中でも，人々は技術を高め，文化を担い，年貢を納め続けていった。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習を通して，この時代の身分制度はもちろん，民衆の非科学的なものの見方や考え方が差別を生み出したことをおさえる。 ○ 差別を受けた人々やその子孫がこの後，様々な自由，平等を求める運動の担い手となっていくことを今後の授業で学習することを伝える。

○江戸時代の社会のしくみを知ろう。

室町時代→戦国時代→安土桃山時代→江戸時代と社会は変化してきました。室町時代と江戸時代を比べると，社会のしくみや人々の生活に大きな変化が見られました。どのような違いがあるかを考えて，江戸時代のしくみを理解していこう。

問題 1

室町時代までの社会のしくみ，人々の生活としてあてはまるものを下の語群からすべて選んで記号で書こう。

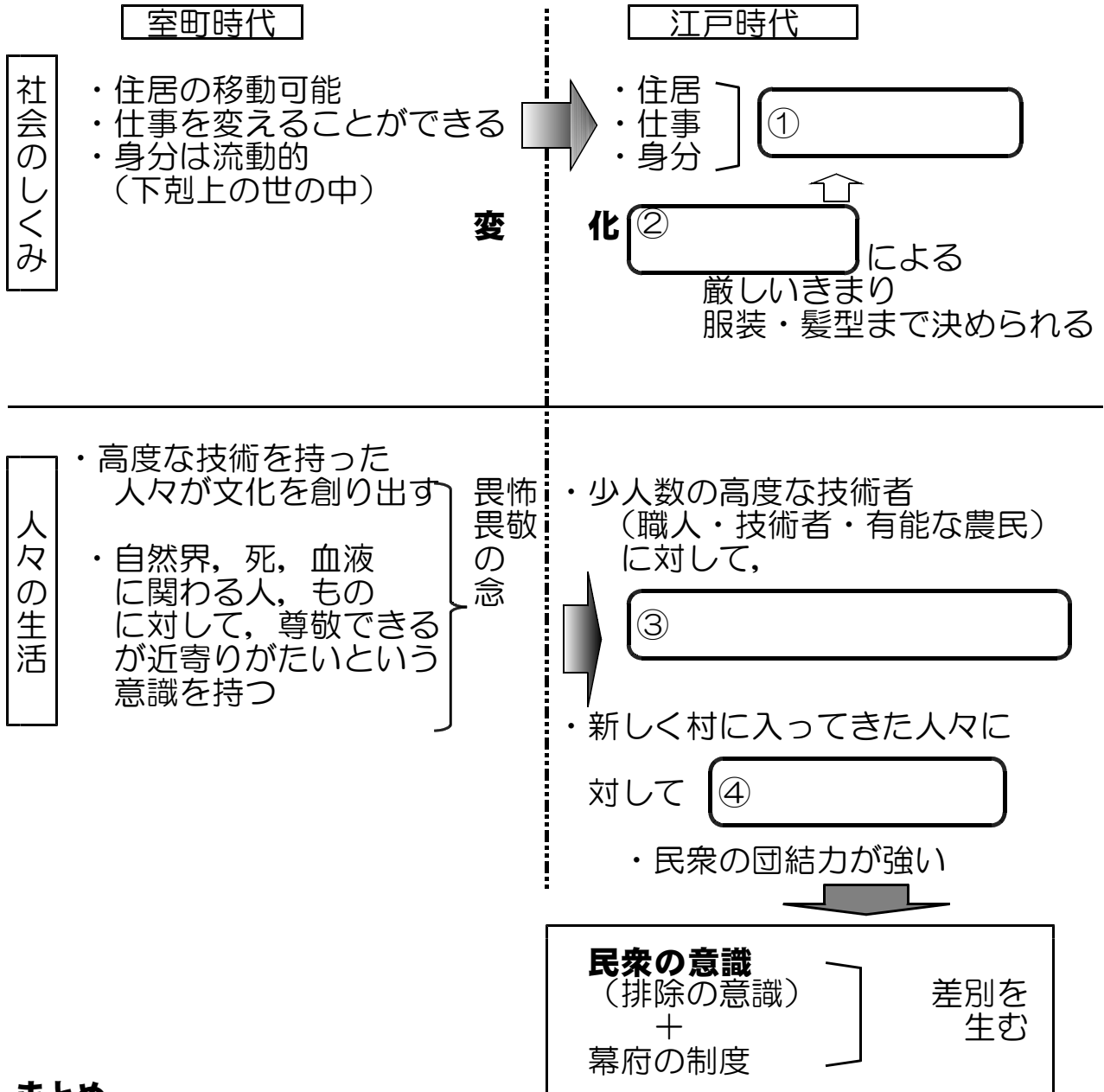
[]

語群

- ア 人々は，みんな名字と名前を持っていた。
- イ 肉類を食べたら，3日間，他の人と接することができなかった。
- ウ 家族が亡くなったら，7日間，人と会うことができないと決められていた。
- エ 全ての人々は，住む場所が決められていて，引っ越しをすることを許されなかった。
- オ 身分や仕事が決められ，親の仕事を必ず継ぐことになっていた。
- カ 河原者とよばれ，特別な技術を持って，庭園などを作っていた人々がいた。
- キ 全てのものには，神が宿っていると考えられていた。
- ク 民衆は，自治組織をつくり，一味神水（みんなの約束事を紙に書き，それを燃やしたものを水に入れ，みんなで，一口ずつ飲む）の儀式などを行い，団結力を高めていた。
- ケ みんな自由平等で，人々の人権は守られていた。

めあて
**江戸時代の社会のしくみを理解し、
 この時代の社会が生み出したものは何か考えよう。**

(1) 室町時代と江戸時代の社会のしくみを比較しよう。



まとめ

